

令和 6年度 中学部 1～3年 (Ⅱ課程A①) 国語科 年間指導計画

| | | | |
|--------------|-----------------|-----|--|
| 単位数 /配当時数 | 児童生徒 | 担当者 | 教科書/副教材 |
| 2/70 | 1～3年 Ⅱ課程-A① 20名 | | こくご☆☆、こくご☆☆☆、 こくご1～3 各種絵本、動画、画像、新聞 |

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

| | |
|------|--|
| 年間目標 | (知及技) 日常生活や社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができる。 (中1段階) (思判表力) 順序だてて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができる。(中1段階) (学・人) 言葉がもつよさに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり伝え合ったりしようとする事ができる。(中1段階) |
|------|--|

| 学期 | 時数 | 単元・題材の目標 | 単元・題材の評価規準 | 単元・題材名 | 単元・題材の活動内容 |
|---------|----|--|--|--|--|
| 1 学期 | 5 | (知及技) 発音や声の大きさに気を付けて話すことができる。(中1段階ア(イ)) (思判表力) 自己紹介について、内容が伝わるように伝える順番を考えることができる。(中1段階A工) (学・人) 伝えたいことを決め、相手に伝えようとする態度を養う。(中1段階) | (知・技) 発音や声の大きさに気を付けて話している。 (思・判・表) 自己紹介について、内容が伝わるように伝える順番を考えている。 (主学) 伝えたいことを決め、相手に伝えようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。 | 「学校生活」 ・自己紹介をしよう ・自分のことを書こう | ・プリントを用いて、自己紹介文を作成する。 ・自分が好きな食べ物や、好きなことについて書いたり、選んだりする。 ・書いた内容を、みんなの前で発表する。 |
| | 8 | (知及技) 長音、拗音、促音、撥音、助詞の正しい読み方や書き方を理解することができる。(中1段階ア(ウ)) (思判表力) 体験したことの中から、伝えたいこと柄を選び、日記を書くことができる。(中1段階Bア) (学・人) 自分の気持ちを表現する良さに気づき、自分の思いを伝えようとする態度を養う。(中1段階) | (知・技) 長音、拗音、促音、撥音、助詞の正しい読み方や書き方を理解しようとしている。 (思・判・表) 体験したことの中から、伝えたいこと柄を選び、日記を書いている。 (主学) 自分の気持ちを表現する良さに気づき、自分の思いを伝えようとしている。 【評価資料】 活動の様子や学習プリントで評価する。 | 「文字を学ぼう」 ・ひらがな、カタカナ、漢字の正確な読み書き ・季節に応じた表現を学ぼう ・ゴールデンウィークの思い出作文 | ・見本を示し正確な形を意識し、丁寧に書写する。 ・連休であった出来事の中から話題の一つ決め、5W1Hに合わせて思い出作文を書くことができる。 |
| | 6 | (知及技) 自然や季節の言葉を取り入れた俳句などを聞いたり作ったりして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(中1段階ウ(ア)) (思判表力) 俳句の情景を想像することができる。(中1段階Cア) (学・人) 感じたことや読み取ったことを伝え合おうとする態度を養う。(中1段階) | (知・技) 自然や季節の言葉を取り入れた俳句などを聞いたり作ったりして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。 (思・判・表) 俳句の音読から情景を想像している。 (主学) 好きな俳句を音読し、暗唱しようとしている。 【評価資料】 活動の様子や学習プリントで評価する。 | 「俳句」 ・リズムよく音読しよう ・五感を使って想像しよう | ・NHK「にほんごであそぼ」にある俳句動画を視聴する。 ・教科書を音読し、五七五の言葉のリズムに慣れる。 ・季語から、どの季節か考える。 ・好きな俳句の暗唱に挑戦する。 |
| | 7 | (知及技) 挨拶状などに書かれた語句や文を読んだり書いたりし、季節に応じた表現があることを知る事ができる。(中1段階ウ(イ)) (思判表力) 文の構成、語句の使い方に気を付けて書くことができる。(中1段階Bウ) (学・人) 暑中見舞いの作成や書くことに意欲的に取り組む態度を養う。(中1段階) | (知・技) 挨拶状などに書かれた語句や文を読んだり書いたりし、季節に応じた表現をすることができている。 (思・判・表) 文の構成、語句の使い方に気を付けて書くことができている。 (主学) 暑中見舞いの作成や書くことに意欲的に取り組もうとしている。 【評価資料】 活動の様子や暑中見舞いで評価する。 | 「手紙を書こう」 ・暑中見舞いの作成 | ・基本的な葉書の書き方を動画などで学ぶ。 ・送る相手を決め、相手や自分の氏名や住所など情報を集める。 ・下書きをする。 ・暑中見舞いを仕上げる。 |
| | 10 | (知及技) 主語と述語の関係や接続する語句の役割を理解することができる。(中1段階ア(オ)) (思判表力) 経験したことの中から、伝えたい事柄を選び、書く内容を大まかにまとめることができる。(中1段階Aウ) (学・人) 新聞を読んだ感想を伝え合う態度を養う。(中1段階) | (知・技) 主語と述語の関係や接続する語句の役割を理解しようとしている。 (思・判・表) 経験したことの中から、伝えたい事柄を選び、書く内容を大まかにまとめようとしている。 (主学) 新聞を読んだ感想を伝え合うことができる。 【評価資料】 活動の様子や夏休み新聞で評価する。 | 「文を書こう」 ・夏休み新聞の作成 ・運動会新聞の作成 | ・新聞を書くことを決める。 ・詳しく思い出しメモを取る。 ・新聞を書く順番を考える。 ・自分の気持ちを書く。 ・下書きを行う。 ・書いた文章を読み返し、間違いがあったら正しく直す。 ・新聞を仕上げる。 |

| 学期 | 時数 | 単元・題材の目標 | 単元・題材の評価規準 | 単元・題材名 | 単元・題材の活動内容 |
|-------------|----|--|--|--|---|
| 2 学期 | 5 | (知及技) 読書に親しみ、簡単な物語や、自然や季節などの美しさを表した詩や紀行文などがあることを知ることができる。(中1段階ウ(ア)) (思判表力) 文章を読んで分かったことを伝えたり、感想をもったりすることができる。(中1段階C工) (学・人) 気に入った本について進んで紹介したり読み聞かせたりすることができる。(中1段階) | (知・技) 学校図書館にある本の種類に触れ、内容に応じて分類分けすることができる。 (思・判・表) 本を見たり読んだりしながら本の特徴を感じ取り、説明することができる。 (主学) 気に入った本や種類について進んで紹介している。 【評価資料】 活動の様子や学習プリントで評価する。 | 「本に親しもう」 ・読書に親しむ ・さまざまな種類の本を読む ・本の種類を分けよう | ・図書館でたくさん本の種類について司書から聞く。 ・いろいろな種類の本を読む。 ・物語、詩、紀行文、図鑑、伝記などの分類分けをする。 ・自分が気に入った本や興味をもった本を紹介する。 |
| | 5 | (知及技) 読書に親しみ、簡単な物語や、自然や季節などの美しさを表した詩や紀行文などがあることを知ることができる。(中1段階ウ(ア)) (思判表力) 簡単な文や文章を読み、情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像することができる。(中1段階Cア) (学・人) 物語に興味をもち、自分で読んだり気に入った文を覚えたりすることができる。(中1段階) | (知・技) 小学生に親しまれる絵本を選び、絵本の中から読み聞かせに必要な材料を見つけることができる。 (思・判・表) 簡単な文や文章を読み、情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像し、セリフを考えることができる。 (主学) 読み聞かせに参加し、担当するセリフを覚えようとしている。 【評価資料】 活動の様子や学習プリントで評価する。 | 「読書を楽しもう」 ・ペープサートを作り読み聞かせ体験をしよう | ・絵本を一冊選び、その絵本のペープサートを作る。 ・小学部へ読み聞かせをしに行く。 |
| | 6 | (知及技) 挨拶状などに書かれた語句や文を読んだり書いたりし、季節に応じた表現があることを知ることができる。(中1段階ウ(イ)) (思判表力) 伝えたいことを大まかにまとめ、文章を読み返して間違いを正すことができる。(中1段階B工) (学・人) 手紙を書くことで、日常生活を充実させたり人間関係の形成を図ったりしようとする態度を養う。(中1段階) | (知・技) 年賀状の基本的な書き方を理解している。 (思・判・表) 伝えたいことを大まかにまとめ、文章を読み返して間違いを正すことができる。 (主学) 年賀状の作成を通して、相手を気遣う気持ちを表そうとしている。 【評価資料】 活動の様子や年賀状で評価する。 | 「季節の手紙を書こう」 ・年賀状の作成 ・干支に関連した読み聞かせ | ・年賀状の決まりについて動画を見て学ぶ。 ・干支の確認をする。 ・年賀状に使う言葉や表現を確認する。 ・はがきを書く内容を決め、年賀状を仕上げる。 ・年賀状の見直しをする。 |
| 3 学期 | 6 | (知及技) 姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら、丁寧に書くことができる。(中1段階ウ(ウ)㉔) (思判表力) 書いた文字を丁寧に読み返し、間違いを正すことができる。(中1段階B工) (学・人) 書くことを通して思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。(中1段階) | (知・技) 姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら、丁寧に書いている。 (思・判・表) 書いた文字を丁寧に読み返し、間違いを正している。 (主学) 書くことを通して思いや考えを伝え合おうとしている。 【評価資料】 活動の様子や学習プリントで評価する。 | 「色々な筆記具で書く」 ・書道に親しもう ・筆ペンに親しもう | ・習字を書くときの姿勢を知る。 ・使う道具の名前を覚える。 ・見本の字を見ながら書く。 ・作品をつつ完成させる。 ・展示会を開き、お互いに良いところを伝え合う。 |
| | 6 | (知及技) 身の回りにあるローマ字について知ることができる。(中1段階ア(ウ)) (思判表力) 簡単な単語について、ローマ字で書いたり読んだりすることができる。(中1段階Cウ) (学・人) 身の回りにあるローマ字について関心を持ち、活用しようとする態度を養う。(中1段階) | (知・技) 身の回りにローマ字が使われていることを理解している。 (思・判・表) 簡単な単語について、ローマ字で書いたり読んだりしている。 (主学) 身の回りにあるローマ字表記について関心を持つようとしている。 【評価資料】 活動の様子や学習プリントで評価する。 | 「ローマ字」 ・自分の名前をローマ字で書こう ・ローマ字入力に挑戦しよう | ・日常で使われている簡単な単語について、ローマ字を読んだり、書いたりする。 ・PCやタブレットを使って、ローマ字で入力する。 |
| | 6 | (知及技) 主語や述語など語句の役割を理解して文を構成し、発音や声の大きさに気をつけて話すことができる。(中1段階ア(イ)(オ)) (思判表力) 伝えたいことを決め発表するとともに、聞いた話を書き留めたりして話の大体を捉えることができる。(中1段階AアCイ) (学・人) 自分の思いや考えを相手にわかりやすく伝えようとする態度を養う。(中1段階) | (知・技) 主語や述語など語句の役割を理解して文を構成し、発音や声の大きさに気をつけて話している。 (思・判・表) 伝えたいことを決め発表するとともに、聞いた話を書き留めたりして話の大体を捉えている。 (主学) 自分の思いや考えを相手にわかりやすく伝えようとしている。 【評価資料】 活動の様子や学習プリントで評価する。 | 「テーマを決めて話そう」 ・一年間の振り返り ・先輩へのエール ・後輩へのエール | ・テーマを決める。 ・伝えたいことを簡易書きで書き出す。 ・主語、述語を意識しながら文章を組み立てる。 ・文字や表現の間違いがないか見直しをする。 ・発表練習をする。 ・皆に聞こえる声の大きさを意識して発表する。 ・相手の発表を聞きながら、わかったことや印象に残った言葉をメモ用紙に書き留める。 ・発表の感想を伝え合う。 |
| 留意点 引継ぎ等 | | ○年間を通して、授業の初めに五十音の歌唱や読み聞かせを取り入れ、文字や言葉、物語に触れる学習活動を継続する。 ○五十音やカレンダーの読み方や見方を毎時間確認する。 ○学校行事や学部行事との関連性を図ったりしながら、教科の視点で指導および評価する。 | | | |

令和 6年度 中学部 1～3年 (Ⅱ課程A②) 国語科 年間指導計画

| | | | |
|--------------|-----------------|-----|--|
| 単位数 /配当時間 | 児童生徒 | 担当者 | 教科書／副教材 |
| 2/70 | 1～3年 Ⅱ課程-A② 10名 | | こくご☆☆、こくご☆☆☆、 こくご1～3 各種絵本、動画、画像、新聞 |

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

| | |
|------|--|
| 年間目標 | <p>(知及技) 日常生活や社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができる。(中1段階)</p> <p>(思判表力) 順序だてて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができる。(中1段階)</p> <p>(学・人) 言葉がもつよさに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり伝え合ったりしようとする事ができる。(中1段階)</p> |
|------|--|

| 学期 | 時数 | 単元・題材の目標 | 単元・題材の評価規準 | 単元・題材名 | 単元・題材の活動内容 |
|---------|----|---|---|--|--|
| 1 学期 | 5 | <p>(知及技) 発音や声の大きさに気を付けて話すことができる。(中1段階A(イ))</p> <p>(思判表力) 自己紹介について、選択肢の中から伝えたいことを考えることができる。(小3段階Aウ)</p> <p>(学・人) 伝えたいことを決め、相手に伝えようとする態度を養う。(中1段階)</p> | <p>(知・技) 発音や声の大きさに気を付けて話している。</p> <p>(思・判・表) 自己紹介について、選択肢の中から伝えたいことを考えている。</p> <p>(主学) 伝えたいことを決め、相手に伝えようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。</p> | 「学校生活」 ・自己紹介をしよう ・自分のことを書こう | <ul style="list-style-type: none"> ・プリントを用いて、自己紹介文を作成する。 ・自己紹介文の内容を、なぞり書きで書く。 ・自分が好きな食べ物や、好きなことを選択肢の中から選ぶ。 ・自己紹介の内容と合うイラストを選んで貼る。 ・書いた内容を、みんなの前で発表する。 |
| | 8 | <p>(知及技) 日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ることができる。(小3段階A(ウ))</p> <p>(思判表力) 見聞きたり、経験したりしたことについて、簡単な語句や短い文を書くことができる。(小3段階Bウ)</p> <p>(学・人) 自分の気持ちを表現する良さに気づき、自分の思いを伝えようとする態度を養う。(中1段階)</p> | <p>(知・技) 日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知り、読んでいる。</p> <p>(思・判・表) 見聞きたり、経験したりしたことについて、簡単な語句や短い文を書いている。</p> <p>(主学) 自分の気持ちを表現する良さに気づき、自分の思いを伝えようとしている。 【評価資料】 活動の様子や学習プリントで評価する。</p> | 「文字を学ぼう」 ・ひらがな、カタカナ、漢字の正確な読み書き ・季節に応じた表現を学ぼう ・ゴールデンウィークの思い出作文 | <ul style="list-style-type: none"> ・教師の範読や動画を見ながら、正しい読み方について知る。 ・なぞり書きでひらがな、カタカナ、漢字を書く。 ・連休であった出来事を思い出して、教師と一緒に5W1Hに合わせて思い出作文を書くことができる。 |
| | 6 | <p>(知及技) 自然や季節の言葉を取り入れた俳句などを聞いたり作ったりして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(中1段階ウ(ア))</p> <p>(思判表力) 挿絵と結びつけて登場人物の行動や場面の様子などを想像することができる。(小3段階Cア)</p> <p>(学・人) 感じたことや読み取ったことを伝え合おうとする態度を養う。(中1段階)</p> | <p>(知・技) 自然や季節の言葉を取り入れた俳句などを聞いたり作ったりして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。</p> <p>(思・判・表) 挿絵と結びつけて登場人物の行動や場面の様子などを想像している。</p> <p>(主学) 好きな俳句を音読し、暗唱しようとしている。 【評価資料】 活動の様子や学習プリントで評価する。</p> | 「俳句」 ・リズムよく音読しよう ・俳句に表される季節を考えよう。 | <ul style="list-style-type: none"> ・NHK「にほんごであそぼ」にある俳句動画を視聴する。 ・リズムよく音読し、五七五の言葉のリズムに慣れる。 ・教師と一緒に音読し、五七五の言葉のリズムに慣れる。 ・俳句を聞いたり、関連する動画や写真を見て、俳句や季節を考える(クイズに答える)。 |
| | 7 | <p>(知及技) 挨拶状などに書かれた語句や文を読んだり書いたりして、季節に応じた表現があることを知ることができる。(中1段階ウ(イ))</p> <p>(思判表力) 文の構成、語句の使い方に気を付けて書くことができる。(中1段階Bウ)</p> <p>(学・人) 暑中見舞いの作成や書くことに意欲的に取り組む態度を養う。(中1段階)</p> | <p>(知・技) 挨拶状などに書かれた語句や文を読んだり書いたりして、季節に応じた表現を知ることができる。</p> <p>(思・判・表) 文の構成、語句の使い方に気を付けて書くことができる。</p> <p>(主学) 暑中見舞いの作成や書くことに意欲的に取り組もうとしている。 【評価資料】 活動の様子や暑中見舞いで評価する。</p> | 「手紙を書く」 ・暑中見舞いの作成 | <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な葉書の書き方について動画や見本を見る。 ・送る相手を決め、相手や自分の氏名や住所など情報を集める。 ・暑中見舞いに使う言葉や表現を教師と一緒に確認し、なぞり書きで練習する。 ・はがきを書く内容を決め、暑中見舞いを仕上げる。 |

| 学期 | 時数 | 単元・題材の目標 | 単元・題材の評価規準 | 単元・題材名 | 単元・題材の活動内容 |
|---------|----|--|---|--|--|
| 2 学期 | 10 | (知及技) 文の中における主語と述語との関係や助詞の使い方により、意味が変わることを知ることができる。(小3段階ア(オ)) (思判表力) 経験したことの中から、伝えたい事柄を選び、書く内容を大まかにまとめることができる。(中1段階Bア) (学・人) 新聞を読んだ感想を伝え合う態度を養う。(中1段階) | (知・技) 文の中における主語と述語との関係や助詞の使い方により、意味が変わることを知ろうとしている。 (思・判・表) 経験したことの中から、伝えたい事柄を選び、書く内容を大まかにまとめている。 (主学) 新聞を読んだ感想を伝え合うことができる。 【評価資料】 活動の様子や夏休み新聞で評価する。 | 「文を書こう」 ・夏休み新聞の作成 ・運動会新聞の作成 | ・新聞に書くことを決める。 ・詳しく思い出しメモを取る。 ・新聞を書く順番を考える。 ・自分の気持ちを書く。 ・下書きを行う。 ・書いた文章を読み返し、間違いがあったら正しく直す。 ・新聞を仕上げる。 |
| | 5 | (知及技) 読み聞かせなどに親しみ、いろいろな絵本や図鑑があることを知ることができる。(小3段階ウ(エ)) (思判表力) 文章を読んだ分かったことを伝えたり、感想をもったりすることができる。(中1段階C工) (学・人) 気に入った本について進んで紹介したり読み聞かせたりすることができる。(中1段階) | (知・技) 学校図書館にある本の種類に触れ、内容に応じて分類分けすることができる。 (思・判・表) 本を見たり読んだりしながら本の特徴を感じ取り、説明することができる。 (主学) 気に入った本や種類について進んで紹介している。 【評価資料】 活動の様子や学習プリントで評価する。 | 「本に親しもう」 ・読書に親しむ ・さまざまな種類の本を読む ・本の種類を分けよう 「読書を楽しもう」 ・絵本に出てくるものを作ってみよう | ・図書館でたくさん本の種類について司書から聞く。 ・いろいろな種類の本を読む。 ・物語、詩、紀行文、図鑑、伝記などの分類分けをする。 ・自分が気に入った本や興味をもった本を紹介する。 ・絵本の中に出てくるものを実際に作る。 |
| | 5 | (知及技) 物事の始めと終わりなど、情報と情報との関係について理解することができる。(小3段階イ(ア)) (思判表力) 登場人物になったつもりで、音読したり演じたりすることができる。(小3段階C工) (学・人) 進んで登場人物の気持ちを想像し、自分なりの表現や言葉で台詞を考える態度を養う。(中1段階) | (知・技) 物事の始めと終わりなど、情報と情報との関係について理解している。 (思・判・表) 登場人物になったつもりで、音読したり演じたりしている。 (主学) 進んで登場人物の気持ちを想像し、自分なりの表現や言葉で台詞を考えている。 【評価資料】 活動の様子や学習プリントで評価する。 | 「三びきの子ぶた」 「オオカミと羊飼いい」 ・台詞を考えて演じてみよう。 | ・教師の読み聞かせを聞き、物語の内容を知る。 ・登場人物を確認する。 ・「誰が」「何をした」に注目しながら、それぞれの家の特徴と物語の展開を理解する。 ・登場人物のセリフを言いながら動作化し、様子や気持ちを理解する。 ・感想を発表する。 |
| | 6 | (知及技) 挨拶状などに書かれた語句や文を読んだり書いたりし、季節に応じた表現があることを知ることができる。(中1段階ウ(イ)) (思判表力) 書いた語句や文を読み、間違いを正すことができる。(小3段階B工) (学・人) 手紙を書くことで、日常生活を充実させたり人間関係の形成を図ったりしようとする態度を養う。(中1段階) | (知・技) 挨拶状などに書かれた語句や文を読んだり書いたりし、季節に応じた表現を書いている。 (思・判・表) 書いた語句や文を読み、間違いを正すことができる。 (主学) 年賀状の作成を通して、相手を気遣う気持ちを表そうとしている。 【評価資料】 活動の様子や年賀状で評価する。 | 「季節の手紙を書こう」 ・年賀状の作成 ・干支に関連した読み聞かせ | ・年賀状の決まりについて動画を見て学ぶ。 ・干支の確認をする。 ・年賀状に使う言葉や表現を教師と一緒に確認し、なぞり書きで練習する。 ・はがきを書く内容を決め、年賀状を仕上げる。 |
| 3 学期 | 6 | (知及技) 姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、平仮名や片仮名の文字の形に注意しながら、丁寧に書くことができる。(小3段階ウ(ウ)④) (思判表力) 書いた語句や文を読み、間違いを正すことができる。(小3段階) (学・人) 書くことを通して思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。(中1段階) | (知・技) 姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、平仮名や片仮名の文字の形に注意しながら、丁寧に書いている。 (思・判・表) 書いた語句や文を読み、間違いを正している。 (主学) 書くことを通して思いや考えを伝え合おうとしている。 【評価資料】 活動の様子や学習プリントで評価する。 | 「色々な筆記具で書く」 ・書道に親しもう ・筆ペンに親しもう | ・習字を書くときの姿勢を知る。 ・使う道具の名前を覚える。 ・見本の字を見ながら書く。 ・作品を一つ完成させる。 ・展示会を開き、お互いに良いところを伝え合う。 |
| | 6 | (知及技) 身の回りにおけるローマ字について知ることができる。(中1段階ア(ウ)) (思判表力) 簡単な単語について、ローマ字で書いたり読んだりすることができる。(中1段階Cウ) (学・人) 身の回りにおけるローマ字について関心を持ち、活用しようとする態度を養う。(中1段階) | (知・技) 身の回りにローマ字が使われていることを理解している。 (思・判・表) 簡単な単語について、教師と一緒にローマ字で書いたり読んだりしている。 (主学) 身の回りにあるローマ字表記について関心を持つようとしている。 【評価資料】 活動の様子や学習プリントで評価する。 | 「ローマ字」 ・自分の名前をローマ字で書こう ・ローマ字入力に挑戦しよう | ・日常で使われている簡単な単語について、ローマ字を読んだり、書いたりする。 ・見本を見ながらPCやタブレットを使って、ローマ字で入力する。 |

| 学期 | 時数 | 単元・題材の目標 | 単元・題材の評価規準 | 単元・題材名 | 単元・題材の活動内容 |
|-------------|----|---|---|---|---|
| | 6 | <p>(知・技) 文の中における主語と述語との関係や助詞の使い方により、意味が変わることを知り、姿勢や口形に気をつけて話すことができる。(小3段階ア(イ)(オ))</p> <p>(思判表力) 相手に伝わるよう、発音や声の大きさに気をつけることができる。(小3段階Aオ)</p> <p>(学・人) 自分の思いや考えを相手にわかりやすく伝えようとする態度を養う。(中1段階)</p> | <p>(知・技) 文の中における主語と述語との関係や助詞の使い方により、意味が変わることを知り、姿勢や口形に気をつけて話している。</p> <p>(思・判・表) 相手に伝わるよう、発音や声の大きさに気をつけている。</p> <p>(主学) 自分の思いや考えを相手にわかりやすく伝えようとしている。</p> <p>【評価資料】 活動の様子や学習プリントで評価する。</p> | <p>「テーマを決めて話そう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一年間の振り返り ・先輩へのエール ・後輩へのエール | <ul style="list-style-type: none"> ・テーマを決める。 ・写真を見ながら、どんなことを伝えたいか自分の考えを伝える。 ・気持ちを表す言葉が出てこない場合は、気持ちを表すイラストを手がかりに選んで貼る。 ・発表練習をする。 ・皆に聞こえる声の大きさを意識して発表する。 ・発表の感想を伝え合う。 |
| 留意点 引継ぎ等 | | <ul style="list-style-type: none"> ○年間を通して、授業の初めに五十音の歌唱や読み聞かせを取り入れ、文字や言葉、物語に触れる学習活動を継続する。 ○五十音やカレンダーの読み方や見方を毎時間確認する。 ○学校行事や学部行事との関連性を図ったりしながら、教科の視点で指導および評価する。 | | | |

令和6年度 中学部(Ⅱ課程B①) 国語科 年間指導計画

| | | | |
|--------------|-------------|-----|-------------|
| 単位数 /配当時数 | 児童生徒 | 担当者 | 教科書/副教材 |
| 1/35 | 1・2・3学年(5名) | | 絵本・学習プリントなど |

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

| 年間目標 | | | | | |
|------|----|--|--|---|---|
| 学期 | 時数 | 単元・題材の目標 | 単元・題材の評価規準 | 単元・題材名 | 単元・題材の活動内容 |
| 年間目標 | | (知及技) 日常生活に必要な国語について、その特質を理解し使うことができるようにする。(小3段階) (思判表力) 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身につけ、思考力や想像力を養う。(小3段階) (学・人) 言葉が伝え合うよさを感じるとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力の向上を図る態度を養う。(小3段階) | | | |
| 一学期 | 3 | (知及技) 自分の名前や友だちの名前を選んだり、なぞったり、書いたりすることができる。(小2段階イ(ウ)) (思判表力) 自己紹介することができる。(小2段階Aウ) (学・人) 言葉でのやりとりを聞いたり、伝えようとしたりすることができる。(小2段階ウ) | (知・技) 自分や友だちの名前を、名札から選んだり、なぞったり、書いたりしようとする。 (思・班・表) 自己紹介に必要な事柄についてなぞり書きしたり、絵や写真などを用いて発表しようとする。 (主学) 教師と一緒に表現方法を工夫しながら、自己紹介をしたり、友だちにも関心を持つようとする。 【評価資料】 学習プリント/ 提出物 / 活動の様子 で評価する。 | 話してみよう、聞いてみよう ・自分や友だちの名前を確認しよう。 ・自分や友だちの名前を知ってもらう ・友だちや先生のことを知ろう | ・自分や友だち、先生の名前をプリントに書いたり、なぞり書きしたり、名札や写真で選んだりする。 ・教師と一緒に自己紹介で話すことを考え、プリントに記入、なぞり書きしたり、絵や写真を活用して自己紹介のプリントを完成させる。 ・自己紹介を行う。 ・友だちの自己紹介を聞く。 |
| | 4 | (知及技) 会話や読み聞かせを通して、言葉には物事の内容を表す働きを知ることができる。(小3段階ア(ア)) (思判表力) 物と事柄を結びつけることができる。(小2段階Aア) (学・人) 丁寧に文字を書くことができる。(小2段階) | (知・技) 曜日や天気、学習道具、教科名や学校の施設、挨拶や季節の言葉などを、ひらがなで選んだり、書いたり、単語カードや絵カードで選んだりしようとする。 (思・判・表) 単語を聞いてそれに対応する名称カードや絵カードを示したり、身振りで伝えようとしたりする。 (主・学) 筆記用具を用いて、丁寧に文字を書こうとしたり、教師と一緒になぞろうとしたり、名称カードや絵カードを選ぼうとする。 【評価資料】 学習プリント/ 提出物 / 活動の様子 で評価する。 | ことばを学ぼう① ・身近なことばを読んでもみよう、書いてみよう (日常生活で使用することば/五十音表) | ・絵本やプリントに描かれたイラストや写真を見て、教師とその名前を1つずつ読み上げたり、指差しなどしながら確認する。 ・筆記用具を用いて、ひらがなでそれぞれの単語の書き取りやなぞり書きに取り組み。 ・写真やイラストを見て事物の名前を答えたり、読み上げた単語と写真やイラストとのマッチングをしたりする。 |
| | 4 | (知及技) 絵本の読み聞かせやさまざまな資料を通して、戦争や平和について触れることができる。(小2段階イ(エ)) (思判表力) 戦争や平和について見聞きし、伝えたいことを考えたりすることができる。(小2段階Aウ) (学・人) 教師の説明を聞き、問いかけに答えようとしることができる。(小2段階ウ) | (知・技) 戦争や平和に関する読み聞かせ、写真や動画、歌などを通して、戦争や平和について関心を持つようとする。 (思・判・表) 戦争や平和について見聞きし、伝えたいことを言葉や表情、しぐさなどで表そうとする。 (主・学) 教師の説明を聞いたり、問いかけに言葉や表情、しぐさなどで答えようとする。 【評価資料】 学習プリント/ 提出物 / 活動の様子 で評価する。 | 平和学習を通して考えてみよう ・話を聞こう、読んでもみよう ・思ったこと、感じたことを表現してみよう | ・戦争や平和に関する絵本の読み聞かせ、写真、動画の視聴 ・戦争や平和について思ったことや感じたことのため(文やメッセージの記入、写真や絵カードの添付) ・関連する語句のなぞり |
| | 3 | (知及技) 葉書の書き方を知ることができる。(小3段階ウ(ウ)) (思判表力) 伝えたい事柄を選んだりしながら、親しい人に暑中見舞いを書くことができる。(小2段階ア) (学・人) 葉書や暑中見舞いの表現に関心を持ち、書き方に沿って丁寧に文字を書くことができる。 | (知・技) 葉書の書き方を知ろうとする。 (思判表力) 暑中見舞いを送る相手を決め、伝えたい事柄を選び、書き方に沿って自分や相手の住所や名前、挨拶文をなぞったり、書いたりする。 (主・学) 暑中見舞いの葉書や表現に関心を持ったりしている、書き方に沿って葉書に丁寧に文字を書こうとしたり、文字カードや写真を添付したりする。 【評価資料】 学習プリント/ 提出物 / 活動の様子 で評価する。 | 季節の挨拶 ・季節の挨拶を学ぼう ・暑中見舞いを書いてみよう | ・葉書に必要な筆記用具を確認する。 ・葉書の書き方を確認する。 ・季節の挨拶を音読したり、なぞり書きする。 ・決められた場所に適切な大きさで文字を書いたり、季節にあった絵や写真を選んで貼ったりする。 |
| | 4 | (知及技) 身近な鳥くとうばの単語や挨拶などについて学び、それを用いて表現することができる。(小2段階イ(ア)) (思判表力) 夏休みの思い出について振り返り、簡易な文や絵でまとめたり、発表したりすることができる。(小2段階Aウ、Bア) (学・人) 鳥くとうばに関心を持ち、身近な単語や簡単な会話の音読や模倣、発表などを楽しむことができる。(小2段階) | (知・技) 身近な鳥くとうばの単語や挨拶をプリントや絵本、動画などで確認し、それらを模倣して活用しようとしたりする。 (思・班・表) 体験したことを絵日記や教師との対話を手掛かりに振り返り、文や身振りなどでくわしく伝えようとしたりする。 (主・学) 鳥くとうばでの簡単な会話や歌、発表などをしようとする。 【評価資料】 学習プリント/ 提出物 / 活動の様子 で評価する。 | 鳥くとうばについて学ぼう ・鳥くとうばを探してみよう。 ・聞いてみよう、話してみよう ・鳥くとうばを紹介しよう | ・鳥くとうばの説明を聞き、絵本の読み聞かせや動画・歌などを鑑賞し鳥くとうばに親しむ。 ・身近な鳥くとうばを探したり、絵カードやipadなどで、単語とのマッチングをしたりする。 ・鳥くとうばでの挨拶を学び、友だちや先生と挨拶を交わしたりしてみる。 ・鳥くとうばの中から、自分が好きなことばを探して紹介する。 |

| | | | | | |
|-------------|---|--|--|---|--|
| 2 学 期 | 3 | (知及技)読み聞かせに親しんだり、文字を拾い読みしたりして、いろいろな絵本や図鑑などに興味を持つことができる。(小2段階イ(工)) (思判表力)教師と一緒に絵本などを見て登場するものや様子、大まかな流れを捉え、言葉などの模倣や好きな場面を伝えたりすることができる。(小2段階Cアイエ) (学・人)自分で読みたい本を選んだり、読んだ本を、友だちに紹介をすることができる。(小3段階) | (知・技)読み聞かせなどに親しんだり、文字を拾い読みしたりして、いろいろな絵本や図鑑に興味を示したりする。 (思・判・表)絵本などを見て、登場するものや様子、大まかな流れを捉えたり、言葉を模倣や好きな場面を選んで伝えようとする。 (学・人)読みたい本を自分で選ぼうとしたり、読んだ本を文や絵、身振りなどで紹介しようとする。 【評価資料】 学習プリント/ 提出物 /活動の様子 で評価する。 | 読書に親しもう ・いろいろな本に触れよう ・感想を伝えよう(好きな場面を探そう) ・本の感想を発表しよう ・本を紹介しよう。 | ・読み聞かせや視聴覚教材でいろいろな作品を鑑賞する。 ・好きな本の中から、好きな言葉や場面を探したり、本の写真や絵を活用して、感想を伝える。 ・本を紹介するポスターを作る。 |
| | 3 | (知及技)物の動きや様子、気持ちを表す言葉やひらがなで読んだり、書いたりすることができる。(小3段階ウ(ウイ)) (思判表力)事物と事柄を結びつけることができる。(小2段階Aア) (学・人)動きや様子、気持ちを表す言葉の模倣を通して、言葉の響きやリズム、言葉による表現に親しむことができる。(小2段階) | (知・技)教師と一緒に絵本やプリントのイラスト、動画などを見ながら、示される動きや様子、気持ちを表すことばを読み上げたり、確認したりする。 (思・判・表)言葉とイラストや絵カードとマッチングさせたり、動きや様子、気持ちを表すことばを探したり、区別したりする。 (主・学)言葉に関心を持ち、響きやリズムを楽しもうとする。 【評価資料】 学習プリント/ 提出物 /活動の様子 で評価する。 | ことばを学ぼう② ・身近なことばを読んでもみよう、書いてみよう (動きや様子、気持ちを表すことば/五十音表) ・言葉の響きや音を楽しもう | ・絵本やプリント、動画などで描写される人や物の動きや様子、気持ちを表すことばなどを、教師と一緒にその物の名前を1つずつ確認しながら読み上げる。 ・プリントを用いて、それぞれの単語のひらがなでの書き取りやなぞり書きに取り組み。 ・単語カードと写真やイラストのマッチング ・読み聞かせや音読、童謡の歌詞などを通して言葉の響きやリズムを楽しむ。 |
| | 3 | (知及技)新年に関する物の名前や事柄、挨拶について学び、年賀状を書くことができる。(小3段階ウ(ウ)) (思判表力)伝えたい事柄を選んだりしながら、親しい人に年賀状を書くことができる。(小2段階ア) (学・人)表現に親しみ、丁寧に新年の挨拶を書くことができる。(小2段階) | (知・技)葉書の書き方を知ろうとする。 (思判表力)送る相手を決め、新年の言葉や事柄を選び、自分や相手の住所や名前、挨拶文をなぞったり、書いたりする。 (学・人)書き方に沿って、丁寧に年賀状を書こうとしている。 【評価資料】 学習プリント/ 提出物 /活動の様子 で評価する。 | 季節の挨拶を学ぼう ・季節の言葉を学ぼう ・年賀状を書いてみよう | ・新年の挨拶や関連することばなど書いたり、なぞったり、読み上げたりする。 ・葉書の書き方をおさらいする。 ・決められた場所に適切な大きさで文字を書く。 |
| 3 学 期 | 2 | (知及技)道具の名前や使い方を知り、書き初めに取り組むことができる。(小3段階ウ(ウ)④) (思判表力)季節の言葉を読んだり、書いたりすることができる。(小2段階Aア、Bイ) (学・人)書きたい文字を選び、毛筆で丁寧に書くことができる。(小3段階) | (知・技)書き初めに取り組もうとしている。 (思・判・表)季節の言葉を読んだり、書いたりしようとしている。 (主学)書きたい文字を選び、道具を適切に用いて毛筆で丁寧に書こうとしている。 【評価資料】 学習プリント/ 提出物 /活動の様子 で評価する。 | 毛筆に親しむ ・書き初めをしよう | ・言葉・毛筆の道具の名前、道具の使い方を確認する。 ・手添えで基本練習を行う。 ・季節に関する言葉や新年の抱負などから、書きたい文字を選ぶ。 ・お手本を見て、教師に手添えしてもらいながら文字を書く。 |
| | 3 | (知及技)言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づくことができる。 (思判表力)簡単な事柄と語句を結びつけたり、語句などから事柄を結びつけたりすることができる。(小2段階Aア) (学・人)適切な筆記用具を用いて、丁寧に文字を書こうとすることができる。(小3段階) | (知・技)絵本や絵カードなどを参考にしながら、「だれが」+「どうした・どんなだ」の主語と述語の二語文を音読し、言葉の意味や組み合わせを意識しようとする。 (思・判・表)昔話の読み聞かせや歌の歌詞などから、教師と一緒に言葉の響きやリズムを抜き出して、音読したり、模倣したりする。 (主・学)適切な筆記用具を用いて、丁寧に文字を書こうとしたり、教師と一緒になぞろうとしたりする。 【評価資料】 学習プリント/ 提出物 /活動の様子 で評価する。 | ことばを楽しむ③ ・文を作ってみよう ・ことばの音やリズムを楽しもう | ・プリントや単語カードや絵カードを使って、主語と述語の適切な組み合わせを確認する。 ・組み合わせた二語文を音読する。 ・絵本の挿絵や写真やイラストを見て、対象物とその動きや様子を、適切な単語を選んで答えたり、単語カードや絵カードを使って言葉の組み合わせを確認する。 |
| | 3 | (知及技)1年間の学習を振り返ることができる。(小2段階Bア) (思判表力)1年間の学習を振り返り、頑張ったことを考えたり、書いたりすることができる。(小3段階Bア、小3段階Aイ) (学・人)自分の考えを発表したり、友だちの発表を聞いたりすることができる。(小3段階ウ) | (知・技)1年間の学習を、プリントや写真などで振り返ろうとする。 (思・判・表)授業で学んだことを振り返り、頑張ったことを文や絵で伝えたり、写真などで選んで伝えようとする。 (学・人)自分の考えを発表しようとしたり、友だちの発表を静かに聞こうとする。 【評価資料】 授業プリント(ふり返しシート)/ 提出物 /活動の様子 /発表やミニテストで評価する。 | 1年間の学習を振り返ろう | ・学習してきた内容を、プリントや発問、音読などで復習する。 ・学習した内容を振り返り、頑張ったことを文や絵で表したり、写真から選んだりする。 ・自分の振り返りや感想を発表したり、友だちの発表を聞いたりする。 |
| 留意点 引継ぎ等 | | | | | |

令和6年度 中学部 (Ⅱ課程B②) 国語科 年間指導計画

| | | | |
|--------------|-------------|-----|-------------|
| 単位数 /配当時数 | 児童生徒 | 担当者 | 教科書/副教材 |
| 1/35 | 1・2・3学年(5名) | | 絵本・学習プリントなど |

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

| 年間目標 | | | | | |
|------|----|---|--|--|--|
| 学期 | 時数 | 単元・題材の目標 | 単元・題材の評価規準 | 単元・題材名 | 単元・題材の活動内容 |
| 年間目標 | | (知及技) 日常生活に必要な国語について、その特質を理解し使うことができるようにする。(小3段階) (思判表力) 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身につけ、思考力や想像力を養う。(小3段階) (学・人) 言葉が伝え合うよさを感じるとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力の向上を図る態度を養う。(小3段階) | | | |
| 一学期 | 3 | (知及技)自分の名前や友だちの名前を選んだり、なぞったり、書いたりすることができる。(小2段階イ(ウ)) (思判表力)自己紹介することができる。(小2段階Aウ) (学・人)言葉でのやりとりを聞いたり、伝えようとしたりすることができる。(小2段階ウ) | (知・技)自分や友だちの名前を、名札から選んだり、なぞったり、書いたりしようとする。 (思・班・表)自己紹介に必要な事柄についてなぞり書きしたり、絵や写真などを用いて発表しようとする。 (主学)教師と一緒に表現方法を工夫しながら、自己紹介をしたり、友だちにも関心を持つようとする。 【評価資料】 学習プリント/ 提出物 /活動の様子 で評価する。 | 話してみよう、聞いてみよう ・自分や友だちの名前を確認しよう。 ・自分や友だちの名前を知ってもちょう ・友だちや先生のことを知ろう | ・自分や友だち、先生の名前をプリントに書いたり、なぞり書きしたり、名札や写真で選んだりする。 ・教師と一緒に自己紹介で話すことを考え、プリントに記入、なぞり書きしたり、絵や写真を活用して自己紹介のプリントを完成させる。 ・自己紹介を行う。 ・友だちの自己紹介を聞く。 |
| | 4 | (知及技)会話や読み聞かせを通して、言葉には物事の内容を表す働きを知ることができる。(小3段階ア(ア)) (思判表力)物と事柄を結びつけることができる。(小2段階Aア) (学・人)丁寧に文字を書くことができる。(小2段階) | (知・技)曜日や天気、学習道具、教科名や学校の施設、挨拶や季節の言葉などを、ひらがなで選んだり、書いたり、単語カードや絵カードで選んだりしようとする。 (思・判・表)単語を聞いてそれに対応する名称カードや絵カードを示したり、身振りで伝えようとしたりする。 (主・学)筆記用具を用いて、丁寧に文字を書こうとしたり、教師と一緒になぞろうとしたり、名称カードや絵カードを選ぼうとする。 【評価資料】 学習プリント/ 提出物 /活動の様子 で評価する。 | ことばを学ぼう① ・身近なことばを読んでもみよう、書いてみよう (日常生活で使用することば/五十音表) | ・絵本やプリントに描かれたイラストや写真を見て、教師とその名前を1つずつ読み上げたり、指差しなどしながら確認する。 ・筆記用具を用いて、ひらがなでそれぞれの単語の書き取りやなぞり書きに取り組み。 ・写真やイラストを見て事柄の名前を答えたり、読み上げた単語と写真やイラストとのマッチングをしたりする。 |
| | 4 | (知及技)絵本の読み聞かせやさまざまな資料を通して、戦争や平和について触れることができる。(小2段階イ(エ)) (思判表力)戦争や平和について見聞きし、伝えたいことを考えたりすることができる。(小2段階Aウ) (学・人)教師の説明を聞き、問いかけに答えようとしたりすることができる。(小2段階ウ) | (知・技)戦争や平和に関する読み聞かせ、写真や動画、歌などを通して、戦争や平和について関心を持つようとする。 (思・判・表)戦争や平和について見聞きし、伝えたいことを言葉や表情、しぐさなどで表そうとする。 (主・学)教師の説明を聞いたり、問いかけに言葉や表情、しぐさなどで答えようとする。 【評価資料】 学習プリント/ 提出物 /活動の様子 で評価する。 | 平和学習を通して考えてみよう ・話を聞こう、読んでみよう ・思ったこと、感じたことを表現してみよう | ・戦争や平和に関する絵本の読み聞かせ、写真、動画の視聴 ・戦争や平和について思ったことや感じたことのため(文やメッセージの記入、写真や絵カードの添付) ・関連する語句のなぞり |
| | 3 | (知及技)葉書の書き方を知ることができる。(小3段階ウ(ウ)) (思判表力)伝えたい事柄を選んだりしながら、親しい人に暑中見舞いを書くことができる。(小2段階ア) (学・人)葉書や暑中見舞いの表現に関心を持ち、書き方に沿って丁寧に文字を書くことができる。 | (知・技)葉書の書き方を知らうとする。 (思判表力)暑中見舞いを送る相手を決め、伝えたい事柄を選び、書き方に沿って自分や相手の住所や名前、挨拶文をなぞったり、書いたりする。 (主・学)暑中見舞いの葉書や表現に関心を持ったりしている、書き方に沿って葉書に丁寧に文字を書こうとしたり、文字カードや写真を添付したりする。 【評価資料】 学習プリント/ 提出物 /活動の様子 で評価する。 | 季節の挨拶 ・季節の挨拶を学ぼう ・暑中見舞いを書いてみよう | ・葉書や必要な筆記用具を確認する。 ・葉書の書き方を確認する。 ・季節の挨拶を音読したり、なぞり書きする。 ・決められた場所に適切な大きさで文字を書いたり、季節にあった絵や写真を選んで貼ったりする。 |
| | 4 | (知及技)身近な鳥くとうばの単語や挨拶などについて学び、それを用いて表現することができる。(小2段階イ(ア)) (思判表力)夏休みの思い出について振り返り、簡易な文や絵でまとめたり、発表したりすることができる。(小2段階Aウ、Bア) (学・人)鳥くとうばに関心を持ち、身近な単語や簡単な会話の音読や模倣、発表などを楽しむことができる。(小2段階) | (知・技)身近な鳥くとうばの単語や挨拶をプリントや絵本、動画などで確認し、それらを模倣して活用しようとしたりする。 (思・班・表)体験したことを絵日記や教師との対話を手掛かりに振り返り、文や身振りなどでくわしく伝えようとしたりする。 (主・学)鳥くとうばでの簡単な会話や歌、発表などを楽しもうとする。 【評価資料】 学習プリント/ 提出物 /活動の様子 で評価する。 | 鳥くとうばについて学ぼう ・鳥くとうばを探してみよう。 ・聞いてみよう、話してみよう ・鳥くとうばを紹介しよう | ・鳥くとうばの説明を聞き、絵本の読み聞かせや動画・歌などを鑑賞し鳥くとうばに親しむ。 ・身近な鳥くとうばを探したり、絵カードやipadなどで、単語とのマッチングをしたりする。 ・鳥くとうばでの挨拶を学び、友だちや先生と挨拶を交わしたりしてみよう。 ・鳥くとうばの中から、自分が好きなことばを探して紹介する。 |

| | | | | | |
|-------------|---|--|--|---|--|
| 2 学 期 | 3 | (知及技)読み聞かせに親しんだり、文字を拾い読みしたりして、いろいろな絵本や図鑑などに興味を持つことができる。(小2段階イ(工)) (思判表力)教師と一緒に絵本などを見て登場するものや様子、大まかな流れを捉え、言葉などの模倣や好きな場面を伝えたりすることができる。(小2段階Cアイエ) (学・人)自分で読みたい本を選んだり、読んだ本を、友だちに紹介をすることができる。(小3段階) | (知・技)読み聞かせなどに親しんだり、文字を拾い読みしたりして、いろいろな絵本や図鑑に興味を示したりする。 (思・判・表)絵本などを見て、登場するものや様子、大まかな流れを捉えたり、言葉を模倣や好きな場面を選んで伝えようとする。 (学・人)読みたい本を自分で選ぼうとしたり、読んだ本を文や絵、身振りなどで紹介しようとする。 【評価資料】 学習プリント/ 提出物 /活動の様子 で評価する。 | 読書に親しもう ・いろいろな本に触れよう ・感想を伝えよう(好きな場面を探そう) ・本の感想を発表しよう ・本を紹介しよう。 | ・読み聞かせや視聴覚教材でいろいろな作品を鑑賞する。 ・好きな本の中から、好きな言葉や場面を探したり、本の写真や絵を活用して、感想を伝える。 ・本を紹介するポスターを作る。 |
| | 3 | (知及技)物の動きや様子、気持ちを表す言葉やひらがなで読んだり、書いたりすることができる。(小3段階ウ(ウイ)) (思判表力)事物と事柄を結びつけることができる。(小2段階Aア) (学・人)動きや様子、気持ちを表す言葉の模倣を通して、言葉の響きやリズム、言葉による表現に親しむことができる。(小2段階) | (知・技)教師と一緒に絵本やプリントのイラスト、動画などを見ながら、示される動きや様子、気持ちを表すことばを読み上げたり、確認したりする。 (思・判・表)言葉とイラストや絵カードとマッチングさせたり、動きや様子、気持ちを表すことばを探したり、区別したりする。 (主・学)言葉に関心を持ち、響きやリズムを楽しもうとする。 【評価資料】 学習プリント/ 提出物 /活動の様子 で評価する。 | ことばを学ぼう② ・身近なことばを読んでもみよう、書いてみよう (動きや様子、気持ちを表すことば/五十音表) ・言葉の響きや音を楽しもう | ・絵本やプリント、動画などで描写される人や物の動きや様子、気持ちを表すことばなどを、教師と一緒にその物の名前を1つずつ確認しながら読み上げる。 ・プリントを用いて、それぞれの単語のひらがなでの書き取りやなぞり書きに取り組み。 ・単語カードと写真やイラストのマッチング ・読み聞かせや音読、童謡の歌詞などを通して言葉の響きやリズムを楽しむ。 |
| | 3 | (知及技)新年に関する物の名前や事柄、挨拶について学び、年賀状を書くことができる。(小3段階ウ(ウ)) (思判表力)伝えたい事柄を選んだりしながら、親しい人に年賀状を書くことができる。(小2段階ア) (学・人)表現に親しみ、丁寧に新年の挨拶を書くことができる。(小2段階) | (知・技)葉書の書き方を知ろうとする。 (思判表力)送る相手を決め、新年の言葉や事柄を選び、自分や相手の住所や名前、挨拶文をなぞったり、書いたりする。 (学・人)書き方に沿って、丁寧に年賀状を書こうとしている。 【評価資料】 学習プリント/ 提出物 /活動の様子 で評価する。 | 季節の挨拶を学ぼう ・季節の言葉を学ぼう ・年賀状を書いてみよう | ・新年の挨拶や関連することばなど書いたり、なぞったり、読み上げたりする。 ・葉書の書き方をおさらいする。 ・決められた場所に適切な大きさで文字を書く。 |
| 3 学 期 | 2 | (知及技)道具の名前や使い方を知り、書き初めに取り組むことができる。(小3段階ウ(ウ)④) (思判表力)季節の言葉を読んだり、書いたりすることができる。(小2段階Aア、Bイ) (学・人)書きたい文字を選び、毛筆で丁寧に書くことができる。(小3段階) | (知・技)書き初めに取り組もうとしている。 (思・判・表)季節の言葉を読んだり、書いたりしようとしている。 (主学)書きたい文字を選び、道具を適切に用いて毛筆で丁寧に書こうとしている。 【評価資料】 学習プリント/ 提出物 /活動の様子 で評価する。 | 毛筆に親しむ ・書き初めをしよう | ・言葉・毛筆の道具の名前、道具の使い方を確認する。 ・手添えで基本練習を行う。 ・季節に関する言葉や新年の抱負などから、書きたい文字を選ぶ。 ・お手本を見て、教師に手添えしてもらいながら文字を書く。 |
| | 3 | (知及技)言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づくことができる。 (思判表力)簡単な事柄と語句を結びつけたり、語句などから事柄を結びつけたりすることができる。(小2段階Aア) (学・人)適切な筆記用具を用いて、丁寧に文字を書こうとすることができる。(小3段階) | (知・技)絵本や絵カードなどを参考にしながら、「だれが」+「どうした・どんなだ」の主語と述語の二語文を音読し、言葉の意味や組み合わせを意識しようとする。 (思・判・表)昔話の読み聞かせや歌の歌詞などから、教師と一緒に言葉の響きやリズムを抜き出して、音読したり、模倣したりする。 (主・学)適切な筆記用具を用いて、丁寧に文字を書こうとしたり、教師と一緒になぞろうとしたりする。 【評価資料】 学習プリント/ 提出物 /活動の様子 で評価する。 | ことばを楽しむ③ ・文を作ってみよう ・ことばの音やリズムを楽しもう | ・プリントや単語カードや絵カードを使って、主語と述語の適切な組み合わせを確認する。 ・組み合わせた二語文を音読する。 ・絵本の挿絵や写真やイラストを見て、対象物とその動きや様子を、適切な単語を選んで答えたり、単語カードや絵カードを使って言葉の組み合わせを確認する。 |
| | 3 | (知及技)1年間の学習を振り返ることができる。(小2段階Bア) (思判表力)1年間の学習を振り返り、頑張ったことを考えたり、書いたりすることができる。(小3段階Bア、小3段階Aイ) (学・人)自分の考えを発表したり、友だちの発表を聞いたりすることができる。(小3段階ウ) | (知・技)1年間の学習を、プリントや写真などで振り返ろうとする。 (思・判・表)授業で学んだことを振り返り、頑張ったことを文や絵で伝えたり、写真などで選んで伝えようとする。 (学・人)自分の考えを発表しようとしたり、友だちの発表を静かに聞こうとする。 【評価資料】 授業プリント(ふり返しシート)/ 提出物 /活動の様子 /発表やミニテストで評価する。 | 1年間の学習を振り返ろう | ・学習してきた内容を、プリントや発問、音読などで復習する。 ・学習した内容を振り返り、頑張ったことを文や絵で表したり、写真から選んだりする。 ・自分の振り返りや感想を発表したり、友だちの発表を聞いたりする。 |
| 留意点 引継ぎ等 | | | | | |